

KENBUN JOURNAL

新しいケンブン

New Culture, New Experience
愛媛県県民文化会館



STAGE

吉本新喜劇

2025.8.10

辻本茂雄 還暦 特別公演記念ツアー 愛媛公演



KENBUN JOURNAL

New Culture, New Experience

愛媛県県民文化会館、略して「ケンブン」から
ケンブンを築くための情報をお届け！

Vol.008
2025



アンケートにご協力ください

ケンブンジャーナル編集部 kenbun_journal@ecf.or.jp



よりよい紙面づくりを目指すため、左記の2次元コードから、ご意見・ご感想をお寄せください。
【個人情報の取扱いについて】個人情報は読者層の調査のために使用します。また、お寄せいただいたご意見は愛媛県県民文化会館のホームページや
刊行物などに掲載させていただくことがあります。ご本人の承諾のない限り、前述の目的以外に使用、第三者に提供することはありません。

Issue

えひめ文化振興コンソーシアム

T790-0843 愛媛県松山市道後町2丁目5-1 TEL.089-923-5111
<https://www.kenbun.jp/>

TAKE FREE



ARTIST
INTERVIEW

「思いつきり、笑って
元気になったら
どーや！」

辻本茂雄

(1)

EHIME CULTURE

広報・たぬ子の
ゆかりアーティスト
interview

KENBUN COLUMN

ケンブンケンガク

エヒメ文化を語る

ケンブン人のお仕事

県文と私

ケンブン周辺見学

アーティスト
インタビュー

FEATURE

思いっきり、笑って
元気になったらど～や！

辻本茂雄

PROFILE

1964年生まれ。大阪府阪南市出身。1989年吉本新喜劇に入団。1995年にはニューリーダーに就任し、1999年座長に就任。第33回「上方お笑い大賞」大賞。2019年新喜劇の座長を勇退後も「茂造」を軸にした公演などを行っている。

Q.1

還暦特別公演記念ツアーを開催中です。
愛媛公演の見どころをお願いします。

舞台に出演するみんなが大爆笑を取れるように、個々が面白くなるように、今回も頑張って台本を書きました。愛媛公演はロングバージョンで、新喜劇だけで2時間盛り上がるように作っております。僕は「茂造」と二役するんですね。アドリブもあって、絶対面白いと思います。今回は還暦オリジナルソングも作ったので、最後にみんなで一緒に歌いましょう！

Q.2

今ではおなじみの「茂造」ですが、どのように生まれたのですか？

茂造が誕生したのは30数年前。新喜劇で新しいことをせなあかんということで、生命維持装置を作る研究所の話で、僕が「茂造」という博士を演じました。初めておじいちゃんのカツラを被ったら、鉄腕アトムに出てくるお茶の水博士みたいになって。話はウケなかったけど、博士は良かったんちゃう？ってことで、今度は茂造が一般社会に出てみたらどうなるかっていうところで発想が進んでいきました。茂造がブレイクしたのは、内場勝則座長の「眠れない男」という芝居。おかげさまでみんなが茂造を愛してくれて、テレビではもう茂造をやっていませんが、覚えてるお客さんが今でも公演に足を運んでくださる。こんなありがたいことはないですね。

Q.3

お笑いを届けるにあたって意識していることは？

僕はやっぱり、お客さんを一番に考えなあかんと思いますね。「ウケたらそれでええやん」やなくて、ウケるのは当たり前。お客さんが「また来たいわ、楽しかったわ」ってまた足を運んでくださる、それぐらいの「感動と笑い」を僕らがプレゼントせなあかんと思っています。

Q.4

愛媛・松山にはどのような印象をお持ちですか？

今はなくなりましたが、サントリーバー露口さんには必ず行っていましたし、20年以上前にたまたま入った居酒屋のお造りも感動するぐらいおいしかったです。それから、ちょっと甘くておいしい中華そばのお店。数年前、久しぶりに行ったら「辻本さん、何十年ぶりやんか〜」と覚えてくれていて。だから愛媛、松山はおいしい店や思い出がたくさんある街という印象です。

Q.5

最後に読者へメッセージをお願いします。

愛媛のお客さんはすごく盛り上がり笑っていただけるので、いつでも楽しいです。今回はお客さんが参加するコーナーも考えていますし、なかなかテレビでは見られない、皆さんが笑顔になる芝居を作ったので、いい思い出を作ってもらえたらうれしいです。この愛媛公演で、思いっきり、笑って、皆さん、元気になったらど～や！

INFORMATION



「辻本茂雄 還暦
特別公演記念ツアー 愛媛公演」
8月10日(日)12:00~、15:30~
@メインホール

1999年から20年にわたり吉本新喜劇の座長を務めた辻本茂雄の還暦記念ツアー。愛媛公演は2時間オール新喜劇のスペシャルバージョン。ますますパワーアップした茂造ワールドとアドリブ満載の公演をお楽しみに！

問/089-921-2121(あいテレビ)
¥/S席完売、A席4,000円 ※3歳未満無料

EHIME CULTURE

エヒメ
カルチャー

ジャンルレスな
アーティストに！

伝統文化からサブカルチャーまで愛媛にゆかりのあるアーティストに広報のたぬ子がインタビュー



ARTIST

愛媛発3ピースガールズロックバンド aisuiFUNCLUB

2024年1月結成発表。現在ボーカルが活動休止中のため、サポートメンバーを迎えるなどさまざまなバンド編成でライブに出演。愛媛県内外で積極的に活動中。

@aisuifunclub
@aisuifunclub

「ガールズとは思えないぐらいカッコいいバンドを目指したい」と話すのは、3ピースガールズロックバンドaisuiFUNCLUB。現在はBa/Vo.が活動休止中のため、Dr.けーてい、Gt.あいなの2人で活動している。彼女たちが楽器を始めたのは、中学生の頃。けーていは学校の文化祭に出演するためにバンドを結成。一方のあいなは家にあったギターに興味を持ち、図書館で本を借りるなど独学で練習を開始。その後、バンドのギターメンバーを探していたけーていが、あいなを紹介されたことで2人は出会う。現在、さまざまなバンド編成にチャレンジしている彼女たちは「バンド以外のイベントへ出演することで、ジャンルレスなアーティストの輪を広めたい」と話してくれた。

KENBUN
AREMOBUNKA
KOREMOBUNKA

ゆるりアーティスト
interview

vol.8

もっと読みたい方
はコチラ▶



愛媛の芸術・文化 広報・たぬ子

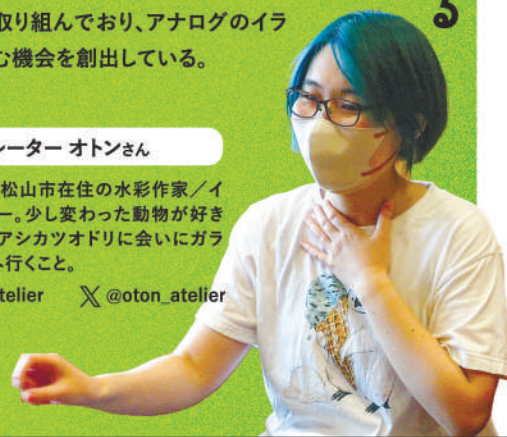
動物が好きなオトンさん。以前は多様な動物を描いていたが、漫画家を目指していたときの経験が活かせるフォルムということで、現在はペンギンをメインに描いている。そんな彼女が活動を始めたのは、コロナ禍の2020年。愛媛へ引っ越してきたことを機に、ステッカーなどの通信販売から始め、徐々にイベントへの出店を開始。初出店時にお客さまからいただいた声は、さまざまな発見と大きなエールになったそう。デジタルイラストが主流のなかで、子どもたちに「機材がなくてもイラストは描ける」と伝えるため、馴染みのある水彩絵の具にこだわり作品を制作。最近では、イベントでのライブペイントに取り組んでおり、アナログのイラストに親しむ機会を創出している。

ARTIST

イラストレーター オトンさん

熊本県出身、松山市在住の水彩作家／イラストレーター。少し変わった動物が好きで、夢はアオアシカツオドリに会いにガラパゴス諸島へ行くこと。

@oton_atelier @oton_atelier



身近な道具でも
イラストは描ける

KENBUN KENGAKU

ケンブンケンガク

知らない人も多い(かもしれない)けど、ケンブンって実は名建築。建物のトリビアから普段、見ることができない裏側まで紹介

THEME [ケンブンの地下にあるのは、駐車場だけじゃない]



01

01 地下に広がる、イベント対応可能な巨大厨房 02 スチームオープンなどの大型機器もフル稼働。スピードとおいしさを両立 03 宴会の舞台上で腕をふるう料理人たち 04 厨房でひと皿ずつ丁寧に仕上げられた、彩り豊かな料理 05 100人超の宴も安心。温かいま届けの工夫が息づく



02



03



04



05

ケンブンには、あなたが知らないもう一つの世界があることをご存知だろうか…その名も「地下厨房」。隠されるかのごとくレストランの足元に広がる厨房、実はとんでもない実力者なのだ。スチームオープンをはじめとする最新鋭の大型加熱機器、業務用機材はホテルの宴会場クラス。ケンブンの下にこんな秘密基地(?)があったとは、誰が想像するだろう。しかもこの地下厨房、レストランとは完全に独立している。つまり、地上の喧騒をよそに、地下では黙々と調理が行えるのだ。会議や式典が終われば、サッと温かい料理が運ばれ、そのまま晚餐へ—なんてこともお手のもの。誰にも知られず、華やかなスポットライトとは無縁に、それでも確かにケンブンの“舞台裏”を支えているこの地下厨房。まさに“裏方界の名優”と言っている。これからケンブンに足を運ぶ人は、ぜひ思い出してほしい。レストランの下に静かに、けれど熱く働く料理人と機器がいる(ある)ということ。

ケンブンのお仕事

KENBUNJIN NO OSHIGOTO

ケンブンで働く人の現場に潜入!



“おいしい”で笑顔になっていただけることが、何よりのやりがい!



料理人歴11年、結婚式場で調理を担当してきた長尾さんは、ゲストの大切な1日を料理で彩ってきた。ケンブン1階のレストランでも多彩なランチを提供するため、腕をふるっている。「味を気に入ったゲストが再訪してくれるのがうれしい」と長尾さん。コンサートや式典の高揚感、イベントの余韻にそっと寄り添うように、“記憶に残る一皿”を届けてくれる。

県文と私

KENBUN TO WATASHI

県文との思い出を語る

by『おんがくdeあそび』

第1グループ ソプラノ担当 清水美千子さん

小さな頃から観客として、数々の音楽に触れてきたケンブン。大学卒業時の愛媛県新人演奏会で初舞台に立ったあの緊張と感動は今も心に深く刻まれています。また、学生時代に観た宝塚歌劇団の公演に魅せられ、愛媛で初めて宝塚受験コースを立ち上げました。今ではミュージカルやパレエ発表会など、生徒たちの夢を見守る場としても度々訪れていま



す。舞台に立つ側でも、支える側でも、私の原点はいつもここにあります。

県文との思い出募集中

ケンブン周辺見学

KENBUN SURROUNDING TOUR

ケンブン近くの素敵なお店を紹介



いよ狸

地物の魚介や新鮮な馬肉など酒に合う料理が味わえる老舗居酒屋。なかでも人気は無添加の「道後ラーメン」で、創業時から変わらぬ味を守り続けている。こだわりの極細麺とよく合う、豚骨、魚介、鶏ガラなどをふんだんに煮込んだ和風スープがポイント。

住/松山市道後湯之町18-2
電/089-921-5350
営/18:00~翌1:00
休/月末日曜



北は北海道、南は沖縄まで、全国を旅する大衆野外ミュージカルの一座が今年も愛媛にやってきます。親子3人で始まった投げ銭の旅暮らしは今年で16年目を迎えました。当時9歳だった娘は成長し、結婚して二世帯の劇団に。やがて娘夫婦は退団し、今は夫婦ふたりによる劇団として旅を続けています。そんな彼らの来訪を楽しみにする人は全国各地に、そしてここ愛媛にもいます。

池の上をぶかぶかと浮かぶ回転舞台で歌い踊る野外劇。自然も土地も生き物も、全てを味方につけて届けられるその舞台は、まさに旅の一座ならではの世界。

その2
旅一座の野外劇
野外劇団 楽市楽座
めぐりめぐりて、
演劇文化の旅



めぐりて/カンゲキ☆あんない 秦 元樹さん

舞台情報サイトや感想交流企画運営、舞台制作など舞台を主軸に活動中。興味はジャンルに限らず幅広く、文化と物語を旅する日々。



愛媛公演は9/27(土)~29(月)19:00から、道後公園にて

松山市在住で世界を舞台に活動している音楽家・工藤冬里さん。松山で陶芸家をされつつ、ヨーロッパでソロや奥さまとデュオ、フル・バンドの「MAHER SHALAL HASH BAZ」のリーダーとしてもギターをかき鳴らしている。そんな姿は数多くYouTubeでも紹介され、彼の音楽に共感したザ・パステルズのリーダーが工藤さんの音楽を世界に紹介すべく、ジオグラフィック・レーベルを立ち上げ、レーベラー作目として発売した逸話もある。現在も毎年複数枚の作品を発表し、当店でもそのレコードを全国に販売させていただいている。

Music
more
ミュージック・モア

#02
世界で注目される音楽家

MORE MUSICオーナー
大久保 銀次さん

秋田県秋田市出身。中学時代から目標にしていたレコード屋を渡米生活を経て、83年松山市にオープン。今春創業42年を迎えた。



工藤冬里さん、昨年リリース最新作「Studio Village Hototoguis」

忘れよう!思い出せない!

~ぼくの80'sグラフィティ~

その② 妄想生まれ、想像育ち、のぼく

80年代が10代の10年間と重なっているぼく。『宝島』などの雑誌に掲載されていたイベントのレポート記事が大好物でした。都会のライブハウス、劇場、映画館—どれだけ想像力を巡らせても限界はあるけれど、本当に行ったような気になって胸を熱くしていたっけ。で、そういう昔のイベントを記録した動画がYouTubeで見つかったりすると、答え合わせのように開いてみるのですが、想像の何分の一のショボさだったりして衝撃を受けることもしばしば。妄想によって形作られてきたぼくの人生って…と嘆かずにはられません。



水本 アキラさん

1969年、松山生まれのディレクター/DJ。音楽、映像、写真、デザイン、イベント主催など文化的営みに邁進する。



10代で体験しておけば!と逆に思うことも

KENBUN SCHEDULE

2025.8-10

※本文中のデータは2025年7月10日現在のものです。チケットが売り切れの場合があります。また予告なく変更になる場合がありますのでご了承ください。

⑤ 堤真一×中村倫也「ライフ・イン・ザ・シアター」

10月17日(金)
17:00～(開場16:30)

10月18日(土)
13:00～(開場12:30)
17:00～(開場16:30)

現代アメリカ演劇を代表する劇作家デヴィッド・マメットによる「ライフ・イン・ザ・シアター」が来松! 舞台上はもちろん、楽屋や舞台袖など、さまざまな劇場空間で堤真一演じる大御所俳優と中村倫也演じる若手俳優が対峙する、息もつかせぬ展開。時間の経過と共に変化していく二人の男の心理的なパワーバランスを、時にユーモラスに、時に鋭く描いていく。

問/0570-200-888(キョードーインフォメーション) ¥/全席指定S席10,000円、A席8,000円

ライフ・イン・ザ・シアター

by David Mamet

出演: 堤真一 中村倫也

⑧ マイナビ転職フェア 松山

9月6日(土)11:00～17:00(開場10:00)

愛媛にゆかりのある企業が多数出展する合同企業説明会。企業ブースの他にもキャリアアドバイザーによる転職相談コーナーもあり、転職活動の情報収集が一通りでできるチャンス。

問/mt-tenshoku-fair@mynavi.jp(株式会社 マイナビ)
¥/入場無料

⑨ 全世代対象 合同説明会 オープン・カンパニー in Ehime

9月12日(金)12:30～17:30(開場12:15)

愛媛の優良企業と愛媛で働きたい学生(全学年対象)と企業をつなぐ合同説明会で、自分らしい企業の見つけ方やインターンシップを“強み”に変えるセミナーも。

問/089-931-6007(株式会社 エス・ビー・シー)
¥/入場無料

⑩ 真天地開闢集団-ジグザグ全国ツアー2025『47都道府県 ゆっくり行脚襖 ～第一弾～』

9月15日(月・祝)18:30～(開場17:30)

日本のヴィジュアル系バンド「真天地開闢集団-ジグザグ」が、全国津々浦々をゆっくり、数年をかけてまわる企画をスタート。「いつの日かあなたの街にジグザグが参ります」。

問/089-947-3535(デューク松山)
¥/全席指定7,500円
※3歳以下入場不可、4歳以上からチケットが必要

⑪ 松山市民劇場 第365回例会 俳優座劇場プロデュース公演「夜の来訪者」

9月19日(金)18:30～(開場18:00)

1945年ロンドンの初演以来、世界中で上演されてきた社会派ミステリー「夜の来訪者」を柴田義之ほか実力派キャストで上演。人と社会との関わりを鋭く問いつける名作をケンブンで!

問/089-943-2460(松山市民劇場)
¥/会員制(新入会是一般5,500円必要、当日入会可)

⑫ Superfly Hall Tour 2025 “Amazing Session”

9月23日(火・祝)17:00～(開場16:00)

Superflyが10年ぶりの全国ホールツアーを開催。「あなたの涙」をテーマに、喜びや悲しみなど心揺さぶるエピソードを募集し、その想いに寄り添うカバー曲を届ける。

問/089-947-3535(デューク松山)
¥/8,900円 ※チケット完売

⑬ 文具フェスタ 2025 in えひめ

10月10日(金)15:00～20:00、11日(土)10:00～18:00、12日(日)10:00～16:00

有名文具メーカーやショップ、個性豊かなクリエイターら全50ブース以上が集結。松山初開催の文具フェスタで、自分だけのお気に入りを見つけよう。

問/https://bunyu-festa.com内の問い合わせフォームから ¥/①アリーナ(60分前先行入場)1,000円、②前売り600円、③当日800円(混雑状況により入場できない場合あり)※①②は先着順/数量限定、特典付き

⑭ EHIME×CULTURE

10月13日(月・祝)11:00～16:00

ハンドメイド作家の作品が並ぶマルシェや、ゆかりアーティストコンサート、舞台スタッフ体験などが楽しめる「クリエイターの文化祭」。飲食ブースもお楽しみに!

問/089-927-4777(公益財団法人 愛媛県文化振興財団) ¥/入場無料 ※舞台スタッフ体験は有料、ケンブンHPより要予約(先着)

⑮ 県 KENBUN MARKET

【縣文夜市(ナイトマーケット)】
8月11日(月・祝)16:00～21:00

【ケンブンマーケット】
10月12日(日)・13日(月・祝)11:00～16:00

【モーニングマーケットvol.8】
10月19日(日)10:00～13:00

8月はグルメやお酒が楽しめ、10月は個性豊かなお店が勢ぞろい。

問/089-945-1139(株式会社 エス・ビー・シー)
¥/入場無料

TONGO vol.2 in KENBUN

華やかなステージ

西武アキラ Akira Nishitake

実験漫画家。アジア各国でフェアにも参加。

LOOK FOR

イベント募集のお知らせ

一覧で見やすい! 使いやすい! ケンブンの利用ガイド3種が完成

各種パーティーや会議、研修、セミナー、展示会など、あらゆるシーンで最適な会場が見つかるケンブンの利用ガイドが完成。それぞれの会場の収容人数や利用料金、備品等が一覧になっているので、利用シーンにあった使い方を検討することができる。下記、二次元コードからチェックしてみて。

利用ガイドはコチラから▼

展示会・各種イベント

各種パーティープラン

会議・研修・セミナー

LOOK FOR

チケット販売のお知らせ

第2回ケンブン大学～和田秀樹氏講演会～チケット販売中!

10月19日(日)に開催する「第2回ケンブン大学」、今回の講師は精神科医であり、『80歳の壁』など著書累計1000万部超えのベストセラー作家でもある和田秀樹氏。自分軸をもって幸せに生きる方法やモチベーションアップのヒントを語る。チケットはケンブン北入口2階、第2事務室の他、いよつ高島屋、明屋書店、イープラスなどで販売中。

【公演日】第2回ケンブン大学～和田秀樹氏講演会～
10月19日(日)13:30～(開場13:00)
問/089-927-4777(えひめ文化振興コンソーシアム)
¥/全席指定2,000円(当日は+500円)

KENBUN JOURNAL

New Culture, New Experience

2025 vol.008

企画・発行: えひめ文化振興コンソーシアム

〒790-0843 愛媛県松山市道後町2丁目5-1 TEL 089-923-5111

https://www.kenbun.jp/

ケンブンジャーナル編集部: 愛媛県県民文化会館内 企画・編集: 藤崎純子・河内春香・植松郁香・河野英一郎(以上えひめ文化振興コンソーシアム)、松下亮介・和氣敬憲・高須美登里・池川ゆかり・橘妙 デザイン: 林真央・土居麻巴香・西田衣織・石崎羽南(以上エス・ビー・シー) 印刷: セキ株式会社 2025年7月25日発行/※掲載データにつきましては、2025年7月10日現在のものです。情報の内容は変更される場合があります。本紙記事、写真等の無断複製、及び転載を禁じます。

Next Issue

2025年9月発行